

三重北消防指令センター 管内区域図



<p>①四日市市消防本部 住所：四日市市西新地 14 番 4 号 TEL：059-356-2002</p> <ul style="list-style-type: none"> ①四日市市中消防署 ②四日市市中消防署中央分署 ③四日市市中消防署西分署 ④四日市市中消防署港分署 ⑤四日市市北消防署 ⑥四日市市北消防署北部分署 ⑦四日市市北消防署朝日川越分署 ⑧四日市市北消防署北西出張所 ⑨四日市市南消防署 ⑩四日市市南消防署南部分署 ⑪四日市市南消防署西南出張所 	<p>⑫桑名市消防本部 住所：桑名市大山田一丁目 9 番地 TEL：0594-86-7483</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑬桑名市消防署 ⑭桑名市消防署西分署 ⑫桑名市消防署大山田分署 ⑮桑名市消防署多度分署 ⑯桑名市消防署長島木曾岬分署 ⑰いなべ消防署 ⑱いなべ消防署北分署 ⑲東員消防署 	<p>⑳菰野町消防本部 住所：三重郡菰野町大字潤田 4418 番地 TEL：059-394-3211</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑳菰野町消防署
--	---	---

四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会(三重北消防指令センター)
〒512-0922 三重県四日市市曾井町391番地2 TEL:059-325-3119

施工：NEC 日本電気株式会社 東海支社 〒460-8525 愛知県名古屋市中区錦 1-17-1 (NEC 中部ビル) TEL：052-222-2111

*GoogleマップはGoogle LLCの商標または登録商標です。

三重北消防指令センター

高機能消防指令システム 消防救急デジタル無線システム



地域住民の安心・安全な暮らしを守る 三重北消防指令センター

三重北消防指令センターは、平成28年4月に四日市市、桑名市及び菰野町の3消防本部で、四日市市中消防署中央分署の庁舎内で共同運用を開始しました。消防指令センターのさらなる高機能化を図るため、令和8年4月に消防指令システムの全面更新を実施し、最新鋭のシステムを導入しました。住民のみなさまの生命と財産を守るため、これまで以上に迅速・的確な消防活動を展開します。

消防指令システムの特長

- 最新鋭の指令・無線システム導入による機能強化
- システムの一元化による操作性の向上
- ICT・DXの強化
- バックアップ体制の強化

市町	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
四日市市消防本部			
四日市市	305,085	147,280	206.50
朝日町	11,091	4,468	5.99
川越町	15,852	7,647	8.72
合計	332,028	159,395	221.21
桑名市消防本部			
桑名市	137,008	62,425	136.65
いなべ市	44,421	19,739	219.83
木曽岬町	5,858	2,694	15.74
東員町	25,525	10,381	22.68
合計	212,812	95,239	394.90
菰野町消防本部			
菰野町	40,468	17,441	107.28
合計	40,468	17,441	107.28
合計(3市5町)	585,308	272,075	723.39

正確な情報確認と迅速な指令による現場到着までの時間短縮を実現

❖ 通報から出動までの一連の流れ

通報受付	災害種別・地点特定	出動隊編成	出動指令	出動	現場活動
119番通報を受けると、指令台の画面に通報者の住所情報や発信地付近の地図が表示されます。	通報内容から火災・救急などの災害種別と、住所や付近目標物といった情報から災害地点を特定します。	出向中の車両を含め、災害種別・規模に応じた最適な出動隊を自動で編成します。	音声合成装置により消防署内に出動指令を行うとともに、詳細な指令情報を指令書にて伝達します。	出動隊は、車両運用端末により最短で現場到着が可能なルートを確認し、いち早く災害現場に急行します。	消防指令センターと情報共有を行い、的確な現場指揮のもと、現場活動を実施します。
					

❖ 指令装置

119番通報の受付から出動・活動支援まで消防指令システムを中心とする装置です。指令管制業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、各装置を連動させて運用を行います。

◆ 統合型位置情報システム

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、通報地点を素早く特定できます。これにより災害地点の確認がスムーズに行え、より迅速な現場への出動が可能となります。



◆ 多目的表示機能

車両一覧や病院情報等の指令管制業務に必要な支援情報を状況に応じて表示させます。



◆ Googleマップ連携

消防指令システムで決定した災害地点の位置座標と連携してGoogleマップを起動させることにより、災害地点周辺の情報をより詳細に把握することができます。



地図ディスプレイ

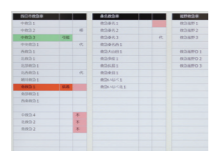
多目的ディスプレイ

自動出動ディスプレイ

受付補助ディスプレイ

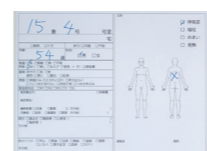
◆ 自動出動指定装置

災害の種別や場所、規模等の情報から、災害現場に近い最適な車両を自動的に選別、迅速な出動指令を行います。



◆ 手書きメモ機能

119番通報で聴取した現場状況や傷病者情報などの詳細内容を画面にメモ書きして、そのまま画像として出動隊車両へ送信できます。



◆ 119番映像通報システム

通報者がスマートフォンなどで撮影した災害現場の映像や位置情報を消防指令センターに伝送できるシステムです。指令センター員が、災害現場のリアルタイムな映像を見ることで、正確な現場状況の把握や適切な応急手当の指導が行えるなど、より迅速な消防・救急活動が可能となります。



◆ 指令台モード切替(大規模災害モード)

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、モード切替により指令台を強化して対応ができます。的確に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】
4画面(自動・地図・多目的・受付補助)のディスプレイを6席で使用



【大規模災害時】
通報が輻輳した場合、指令台を2画面に切替えて最大12席で使用

❖ 表示盤

消防指令センターの前面に配置した表示盤に、車両運用状況や警報・注意報等の気象情報、地図情報などを表示します。消防指令センター内で情報共有を図りながら、災害状況に応じた指揮活動をはじめとした現場活動全般の支援を行います。



◆ 車両運用表示盤

指令装置や車両運用端末装置と連動して、各車両の動態情報を一覧表示します。

◆ 支援情報表示盤

管内の119番着信状況や警報・注意報等の気象情報といった各種支援情報を表示します。

◆ 多目的情報表示盤

各車両の状況や病院情報など、指令業務に必要な支援情報を、状況に応じて表示させることができます。

❖ 署所用表示盤

各消防本部や署所に設置され、指令情報、管内の事案情報及び車両動態状況などが表示できます。大規模災害時にも変化する管内状況を確認しながら適切な意思決定、災害対応を行います。



❖ 車両運用端末装置(Ⅲ型)

現場隊員が必要とする指令情報や地図情報、現場までの最短ルート、傷病者情報といった様々な支援情報をリアルタイムに表示することができます。現場活動に必要な情報を迅速に提供することで、効率的な現場活動をサポートします。



迅速で円滑な指令管制・現場活動をサポートするシステム

❖ 電子黒板

三重北消防指令センターと各消防本部に導入した電子黒板では、ウェブ会議を通じて現場の映像や各種データを閲覧することができます。管轄を越えた応援出動があった場合に、それぞれの消防本部が所有する情報を電子黒板を通じて共有し、同じ画面を見ながら迅速に意思疎通を図ることが可能になります。

◆ ドローン



◆ 現場動画



◆ 各種データ



迅速な
情報共有



◆ 三重北消防指令センター



◆ 四日市市消防本部



◆ 桑名市消防本部



◆ 菟野町消防本部



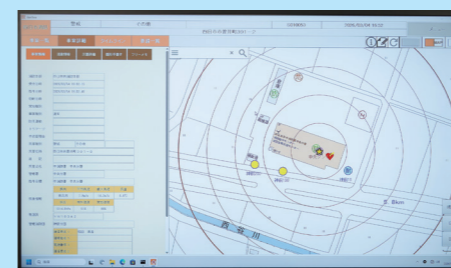
❖ 救急医療情報共有システム



救急隊がタブレット端末に入力した搬送者情報や観察所見、画像等を医療機関のタブレット端末とリアルタイムで共有することにより、医療機関の受け入れ準備や診療体制を最適化することができます。また、救急現場で入力した情報が報告書へ反映されることから、事務作業を効率化し救急隊員の事務負担を軽減できます。

❖ 災害情報共有システム

消防指令システムと連動して、災害事案情報を各消防署・分署で共有することができます。また、端末の設置された市町の防災担当課でも、この内容を確認することができます。



❖ 消防救急デジタル無線

消防指令センターと現場隊員間で確実に情報連携・指示伝達ができる通信網を確保しています。また、共同運用する3消防本部において、相互応援出動することとなったとき、それぞれの消防本部の無線周波数を使用して無線交信ができるため、効率的な無線運用が可能です。



❖ 指揮支援タブレット



指揮支援タブレットは、指令情報や災害現場付近の地図情報、消防車両の配置、建物情報等を確認ことができ、災害現場で指揮を執る指揮隊の活動を支援します。また、消防指令センターからメッセージやデータファイルを送信したり、指揮隊が災害現場で撮影した写真や映像を消防指令センター、消防署・分署へ送信する機能があり、双方向の情報共有を可能にします。

❖ バックアップ体制の強化

車両運用端末装置及び無線基地局のネットワーク回線が途絶した場合に備えて、それぞれバックアップ回線を確保し、消防指令センターの体制強化を図りました。



❖ 庁舎安全対策

建物自体を揺れから守る免震構造を採用し、地震の揺れを軽減させることができます。大地震が発生した際にも消防指令システムを揺れから守り、継続して指令管制業務を行うことができます。また、非常用発電機を消防庁舎の屋上に設置しているため、非常時の場合でも連続した電源供給が可能です。

